

『子どものからだと心白書 2012』 正誤表

2013. 3. 19. 現在

・ p. 47 図 2 : 中学生の 1 週間総運動時間 (体育の時間を除く) の数値に修正があります。

誤) 2011 年秋 男子 (N=90)	→	正) <u>(N=102)</u>
2012 年春 男子 (N=74)	→	<u>(N=75)</u>
2011 年秋 女子 (N=97)	→	<u>(N=94)</u>
2012 年春 女子 (N=93)	→	<u>(N=80)</u>
2012 年春 男子 週 60~420 分 (39.2)	→	<u>(28.0)</u>
2011 年秋 女子 週 60~420 分 (23.7)	→	<u>(20.2)</u>
2011 年春 女子 週 60~420 分 (26.9)	→	<u>(22.5)</u>

・ p. 62 ▲5-1 : 5~19 歳にみる自殺率の年次推移

※下記のポイントを左に 1 年分ずらして下さい。数値に修正はありません。

誤) 小学生 ◎印→2009 年~2012 年のポイント
正) 小学生 ◎印→2008 年~2011 年のポイントに変更
誤) 中学生 回印→2009 年~2012 年のポイント
正) 中学生 回印→2008 年~2011 年のポイントに変更

・ p. 75 ▲4-5 の凡例

誤) ●小学生男子	■小学生女子	▲中学生男子	×中学生女子
正) ●1~6 歳	■7~14 歳	▲15~19 歳	×20~29 歳

・ p. 81 ▲6-8 の差し替え→

▲6-8 : HIV 感染人数とコンドーム出荷数、人工妊娠中絶率の年次推移
および性器クラミジア一定点当たりの報告数

(※ : IDSC 『感染症発生動向調査事業年報』 より)

・ p. 114 特別支援のコメント

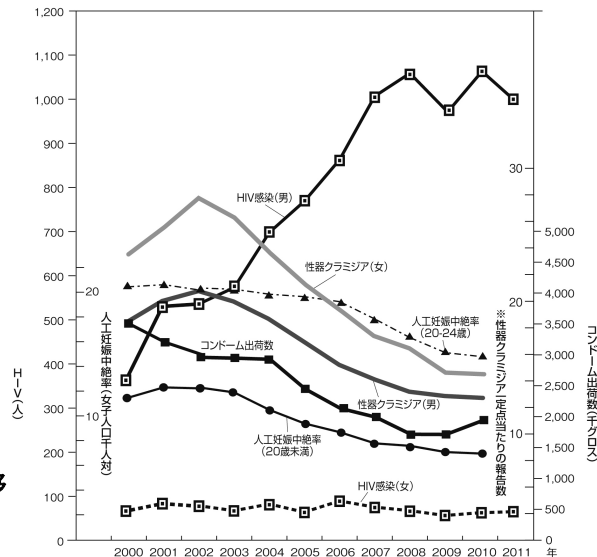
誤) 義務教育において特別支援教育を受ける子どもの割合は 5 年前に比べて 1.4%増加し、
正) 義務教育において特別支援教育を受ける子どもの割合は 5 年前に比べて 1.4 倍増加し、

・ p. 139 ▲1-3 小学生【女子】2008 年度・2009 年度 × データの数字

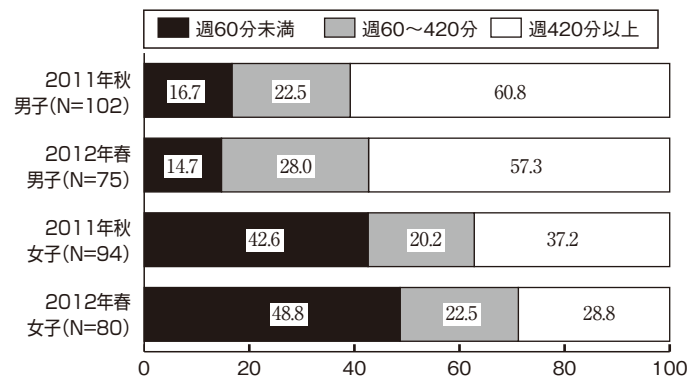
2008 年度 × データ 誤) 8h27m	→	正) 8h13m
2009 年度 × データ 誤) 7h54m	→	正) 8h06m

・ p. 146 ▲2-11 の凡例

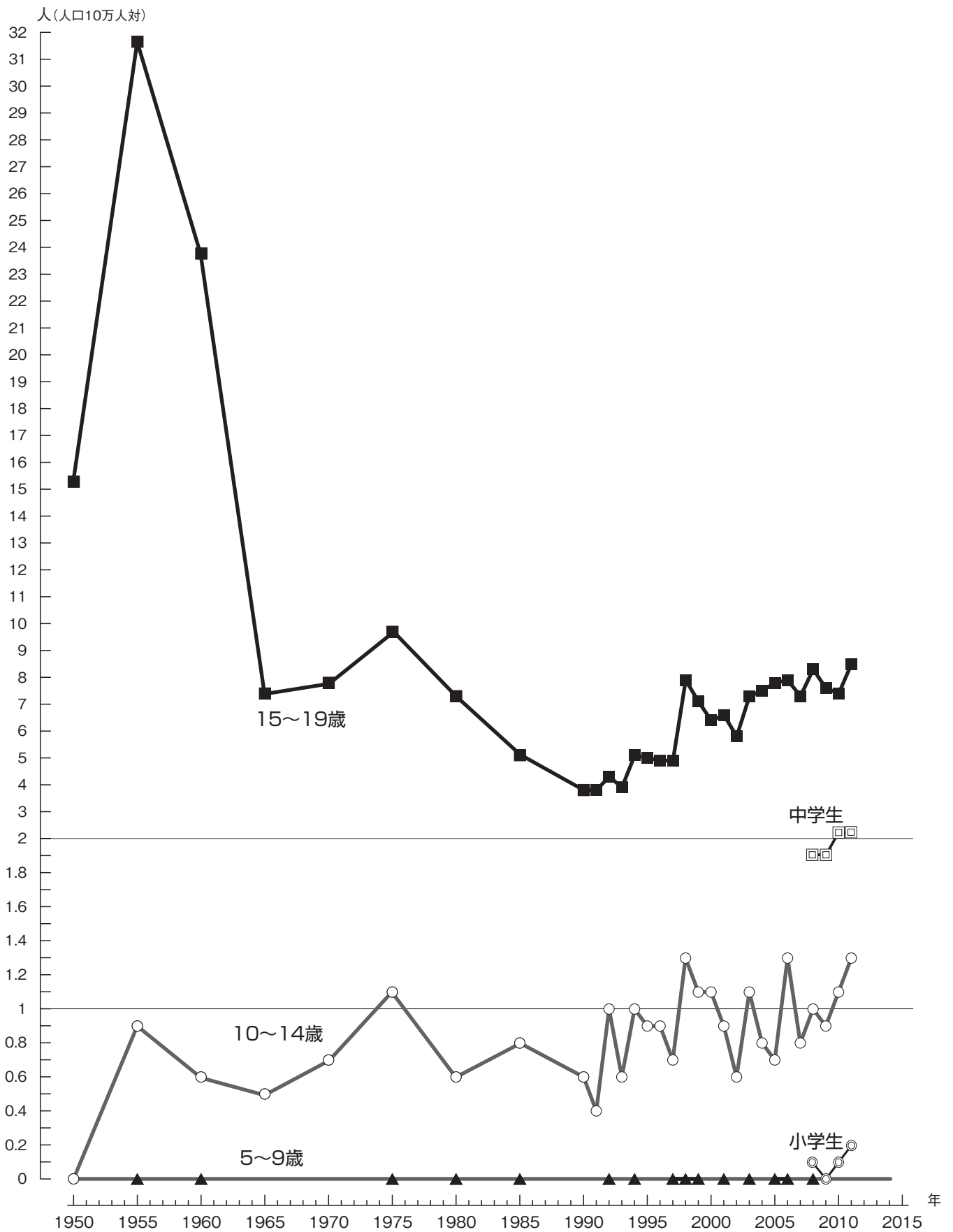
誤) ■利用したいことはない	→	正) ■利用したことはない
--	---	---



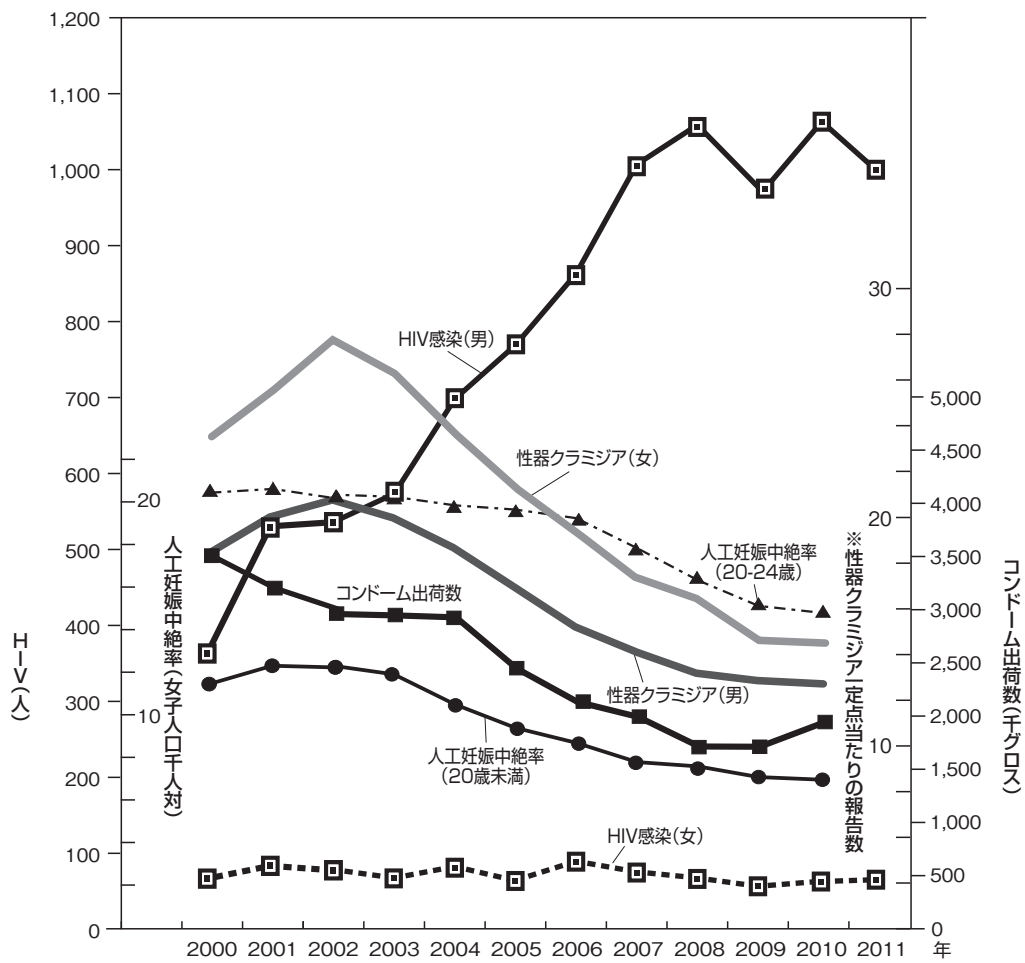
※差し替えの図 (p. 47 図 2、▲5-1、▲6-8) は、ブックハウス・エイチディ HP (<http://www.bookhousehd.com/>) から原本と同じ大ききでダウンロードできます。



▲図2：中学生の1週間総運動時間（体育の時間を除く）



▲5-1：5～19歳にみる自殺率の年次推移
 (5-1、5-2：厚生労働省『人口動態統計』より)



▲6-8：HIV感染人数とコンドーム出荷数、人工妊娠中絶率の年次推移
 および性器クラミジア一定点当たりの報告数

(※：IDSC『感染症発生動向調査事業年報』より)